

吸収力が違う!

より確実に根まで枯らす
枯らす力のマックスロード!

Chlorophyll Fluorescence Imaging

試験場所: モンサント研究所

試験方法: 「ラウンドアップマックスロード」と「従来のラウンドアップ」の各薬剤の
200倍液を草種イチビに散布処理。処理72時間後に観察を行った。

撮影方法: フルオルカムイメージングシステムを用いて撮影を行った。

750nmの可視光線を遮断し光合成反応を撮影することが出来る。

*吸収された成分が光合成を阻害する程度を表す。

□赤色は大きく阻害、□黄色はやや阻害、□緑色は阻害がなされていない状態。

従来のラウンドアップ

Chlorophyll Fluorescence Imaging

ラウンドアップマックスロード

Chlorophyll Fluorescence Imaging

吸収力が違う!

大量に取り込まれた
活性成分!

確実に根まで移行!



ラウンドアップ
マックスロード

THE NEXT TECHNOLOGY TO YOU



違いは活性成分の吸収力！

散布1時間後の雨に強い！

散布から1時間経てば、その後雨が降っても大丈夫。



散布1時間後に雨が降った場合の効果[スギナ:処理18日後/枯殺率(%)]

従来のラウンドアップ

50%

ラウンドアップマックスロード

95%

試験方法

試験場所: (財)日本植物調節剤研究協会 研究所(2006年)

試験草種: スギナ(草丈35~45cm)

処理方法: スギナに各薬剤の25倍希釈液を散布処理し、1時間後に人工的に2mmの雨を降らせた。処理18日後に観察を行った。効果比較による判定値(枯殺率)

[従来のラウンドアップ]が散布後6時間以内の降雨に効果が劣る場合があるのに対し、
[ラウンドアップマックスロード]なら散布後1時間経てば確かな効果を発揮します。



従来の
ラウンドアップ
6時間



ラウンドアップ
マックスロード
1時間

低温時に強い！

雑草の活性が低い低温時に散布
しても、しっかり枯らします。



気温が低いときに散布した場合の効果[処理21日後/枯殺率(%)]

従来のラウンドアップ

70%

ラウンドアップマックスロード

95%

試験方法

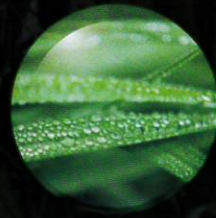
試験場所: 日産化学工業(株)生物科学研究所(2006年)

試験草種: スズメノテッポウ 処理時期: 3月上旬 処理時の温度: 9°C

処理方法: 早春の比較的気温の低い時に、各薬剤の200倍希釈液を散布処理。処理21日後に観察を行った。

朝露にも強い！

朝露が付いた状態の雑草に散布
しても、確かな効果を発揮します。



朝露が付いた状態で散布した場合の効果[スギナ:処理35日後/枯殺率(%)]

従来のラウンドアップ

5%

ラウンドアップマックスロード

80%

試験方法

試験場所: 北海道岩見沢市

処理時期: 朝露有り(6時30分)

試験草種: スギナ(草丈: 40~50cm)

観察: 処理後35日

土に落ちてても
自然物に分解！

雑草の茎葉にかからず土に落ちた成分は、処理後
1時間以内のごく短時間で土の粒子に吸着し、その
後微生物のエサとなって自然物に分解します。

ホームページ

ラウンドアップ

検索

携帯電話ウェブサイトからも【作物別使用方法】がご確認いただけます。